

# パリの都市景観照明デザインについて

日大生産工 ○山家 哲雄

## 1. はじめに

世界の各都市、街には、歴史や風土気候に培われたそれぞれ固有のアイデンティティーがある。特にフランス共和国の首都であり、「光の都市」と自称するパリでは、都市再生と光の関係において、大変興味深い事例がいくつも展開された。

本稿では、「光の都」と称され、世界中で最も夜景が美しい街といわれるフランス共和国の首都「パリ」が歴史と共に歩んだ都市環境照明デザインの変遷を解析したので報告する。

## 2. パリの都市景観照明の変遷 (1)~(6)

伝統と革新が交錯する国がフランス共和国であり、街がパリである。古くから都市における照明のあり方に注目して夜間の美しい都市景観（夜景）の創出に取り組み、都市の光環境を永続的に整えてきた。照明（あかり）の目的もその時代の時々で変化していることが大変興味深い。

先ず中世の時代における照明の目的は、夜（闇）を明るく照らすことであって、単なる明視目的の「見る光」であった。

次にその時代の国王が絶対的に権力を握っていたフランス革命以前の絶対王政時代では、治安維持および「王権顕示」と象徴、およびフランス革命後のブルジョアジー（裕福な商工業者）らの時代に至っては、共に富力顕示のための「見せる光」へと照明の目的が変化した。さらに 19 世紀の後半以降になると産業革命や電灯の発明と共に、その矛先が国の富力である近代科学技術の粋を顕示するための光へとその性格が徐々に変化した。

そして 20 世紀半ば以降から現在に至り、都市の構造改革（オスマン男爵の「パリ大改造」とミッテラン大統領の「グラン・プロジェクト」）ならびに光環境の刷新（パリ市行政による光の質向上）などが大々的に執り行われ、世界中で最も夜景が美しい「光の都市」となったパリでは、照明の目的も「見られる光」へと変革した。

ここで、パリ大改造計画「グラン・プロジェクト (le Grand Projet)」は、フランス第 5 共和制の第 4 代大統領であったフランソワ・ミッテラン氏が推進した一大国家プロジェクトである。その都市の夜間景観の創出手法は、(1) ガラス張りのカーテンウォール建築の内部照明が夜間に外部へ透過して外観照明として機能するタイプと、(2) 投光照明による夜間の表情を意識したタイプとの二つに分けられる。

パリ市行政も改革に取り組んだ。すなわち、都市再生に関する国家プロジェクト「グラン・プロジェクト」に触発されたパリ市は、既存施設のライトアップにおける「光の質向上」に取り組んだ。それらは具体的に四つに分類することができ、(1) モニュメンタルな歴史的

建造物、(2) 公共広場、(3) 街灯を主軸とする街路空間、そして(4) セーヌ川に架かる 35 ある橋の夜間照明の刷新である。

これらの夜間景観の刷新手法に共通している考え方は、照明計画が周囲の環境との調和を意識しているということである。

パリの最新の「パリの街あかり（都市景観照明）」事例を紹介する。（図1から図3を参照）

歴史的建造物、斬新な新建築、公共空間、街路空間、およびセーヌ川に架かる橋梁など、そのすべての夜間景観が周囲環境（歴史的建物の多い街なみ）との調和を意識した照明デザインであることが分かる。

道路・街路照明では、車道は路面が明るく見える低圧ナトリウムランプによる黄色・オレンジ色系の光が、歩道側には演色性に優れる HID ランプによる白色系の光が配置されている。即ち車（運転者）への「効率と安全」、と（歩行者）への「見え方と安心」の配慮がしっかりと成されている。

## 3. おわりに

以上のように、パリの街がいつの時代においてもその歴史の中で光（照明）とのかかわりを深く持っていたことが、パリの街をいつの季節に訪ねても美しい街並みと夜景が迎えてくれる所以であると考えられる。

パリ市が永続的に執り行っている「光による都市の再生（再編成）」は、一貫した照明基本計画（ライティング・マスター・プラン）およびその長期的計画実施によって成し得た成果である。

日本の都市光環境は、パリに比べ偶発的に行われた無秩序な照明計画の蓄積が多いように感ずる。

日本の各地には後世に残したい美しい都市環境、建築文化、夜景、そしてあかり文化がたくさんある。

パリ市が取り組んだ「都市再生と光」の関係に学び、周囲環境との調和をはかりつつ自然環境に優しい「日本の美しい景観と街あかりの創出」を、後世への贈り物として対処して行かなければならないと考える。

## 《参考文献》

- (1) 山家哲雄:「パリを思う パリ都市考」, 照明学会誌, Vol.89, No.6, pp.292~306 (2005)
- (2) 百里美和:「パリに住む 住区のアかり」, 照明学会誌, Vol.89, No.6, pp.307~316 (2005)
- (3) 高橋垂須未:「パリに集う 広場のあかり」, 照明学会誌, Vol.89, No.6, pp.317~322 (2005)
- (4) 阿部麻由香:「パリに誘う クリスマスイルミネーション」, 照明学会誌, Vol.89, No.6, pp.323~328 (2005)
- (5) 山家哲雄:「都市環境における LED 演出照明と今後の都市光環境のあり方」, 第 38 回照明学会全国大会(シンポジウム)講演論文集, pp.315~316(2005)
- (6) 山家哲雄・百里美和・高橋垂須未・阿部麻由香「パリ/東京夜景考」, 平成 17 年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会講演論文集 (CD-ROM 版), 講演 No.35(2005)



図1 パリ大改造計画「グラン・プロジェ(le Grand Projet)」



図2 パリ市行政が取り組んだ「光による都市環境再生プログラム」



図3 パリの諸文化と街あかり